

萩市医師会報

No. 595 2022.10

11月例会
11月25日(金) 午後7時
於 医療支援センター

「かつて学びし学会」萩・明倫学会
撮影 A.O.

一 医師会

1 県医情報 前川県医常任理事

山口県医師会の常任理事会活動について以下のとおり、報告がされた。

県医師会では加藤会長が就任されて以来、常任理事会で事業テーマを決めて月に1回協議し進捗確認を行っていること。例としては、日本医師会の会費負担基準の改訂に応じた県医師会の会費基準の検討、医師の高齢化による救急対応の弱体化を防ぐためのインセンティブの要望、山口大学医学部との協調・連携促進の一環として県医師会との懇談会の設置、県医師会からのコンパクトで分かりやすく、手軽な会員向け情報発信の仕方の検討、医療機関の事業承継に係るマッチング事業の推進、新型コロナウイルス関係の診療報酬加算の取扱い解釈などが挙げられること

2 会長報告 綿貫会長

1) オミクロン株対応ワクチンの接種体制に係る萩市主催の説明会報告

9月15日(木) 於 医療支援センター

新型コロナウイルスの変異に対応するワクチンの供給などへの国の動きが急になっており、医師会としても円滑に対応にするため、理事会協議、例会報告など通常の手順を経ることなく、必要に応じて、行政には説明をして頂くこととし、この15日に新たな種類のワクチン供給について萩市に説明を頂いた。主な説明事項は以下のとおりであること

オミクロン株対応ワクチン（主にファイザー社製のオミクロン株対応2価ワクチン）接種の対象者として、前回接種から5か月以上経過し、10月1日より接種可能となる3回目接種済の60歳以上の方

や基礎疾患を有する方等、警察、消防、小中高特の教職員などに加え、この度、国からの配送計画の通知により、ワクチンの供給増が明らかになったことから、12歳以上の方で3回目未接種の方や旧ワクチンの4回目接種済みの方が10月17日からの予約の受付と接種が可能となったこと。接種券も10月17日から順次発送すること。接種体制は医療機関での個別接種とし、萩市・阿武町の住民周知は10月11日から12日にかけて記者発表、広報の掲載を予定していること。

なお、報道されているとおり、10月下旬に国が接種間隔の短縮（5か月から3か月への短縮）を決定した場合、予約者が増加し、受付・接種業務への負担増の懸念があること。また、留意事項として、オミクロン株対応ワクチンの接種は1回のみで複数回は認められていないこと。

1・2回目みの接種の方は従来型の接種、3回目以降の接種の方がオミクロン株対応ワクチンの対象となること

参考として、萩市が現時点での接種対象者別、ワクチンの種類別、回数別の一覧表「接種区分別の使用するワクチンについて」を作成しているので、ご一読いただき理解に努められたいこと

【河野会員から質疑】

感染後のワクチン接種間隔の目安としては経過3か月後の接種で間違いはないか。

【綿貫会長の回答】

3か月後の接種が推奨されているが、本人が希望した場合は3か月を待たずに接種しても良い。

2) 発生届の重点化等に係る県主催の圏域会議報告

9月20日(火) 於 医療支援センター

会議では9月26日から国の方針に基づ

き、全国一律で発生届の重点化による支援体制に変更されること。主な変更点として、医療機関から出される発生届の対象が重症化リスクの高い方等（①65歳以上の方②入院を要する、あるいは入院の必要性がありうる方③重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与または新たに酸素投与が必要な方④妊婦の方、という所謂4類型の対象者に限定されること。医療機関を受診し陽性となったが、トリアージにより4類型に該当せず発生届の対象外となる方、あるいは薬局で購入した抗原検査キットで自己検査をし、陽性が判明した方は自ら県が設置した自宅療養者フォローアップセンターに陽性者情報を登録し、症状や必要に応じて健康相談や生活相談を行うこと。医療機関には発生届の対象、対象外に関わらず、受診し陽性が判明した方の一日の数をHER-SYSに登録する業務が生じること

会員におかれては、今後、自宅療養者フォローアップセンターの運用状況を注視するとともに萩保健所からの依頼を受けた医療機関が自宅療養者の健康観察（往診含む）を行う健康相談輪番制とフォローアップセンターとの連携がうまく機能しているか確認する必要があるので不明の点があれば医師会事務局までお知らせ頂きたいこと

連絡事項として、この10月を「圏域のコロナ対策月間」と称して、以下のとおり、研修会を開催するので、出来る限り参加をお願いしたいこと

まず、10月13日(木)に都志見病院と萩健康福祉センター（萩保健所）とにより、外来感染対策向上加算に係る、第2回目の地域感染対策連携カンファレンス（萩健康福祉センター担当者の行政説明）及び感染症対策訓練（都志見病院の感染管理認定看護師によるPPEの脱着訓練）を萩市総合福祉センターを会場として、会場とWEBによるハイブリット開催を予定

していること

次に萩圏域地域包括ケアネットワーク協議会の令和4年度多職種連携研修会（第1弾）を10月19日(水)に開催する予定であること。内容としてはコロナ対応について圏域の医療福祉関係者みんなで理解し協力することを目標に第7波における入院協力医療機関の受入れ状況（逼迫状況を含む）、萩圏域外への入院患者の搬送による他圏域の負担など、萩医療圏域で今、何が起きているか、県全体で起きていることについて萩保健所担当者及び県立総合医療センターの原田先生に説明して頂き、解決すべき課題を明らかにしてもらうこと。別添、当該研修会のチラシのとおり、県立総合医療センターの原田先生には全体進行を兼ねて講師をお願いし、WEB形式で実施すること。原田講師の説明テーマは「Withコロナでも住み慣れた萩圏域で自分らしく最期まで暮らし続けるために」を予定していること。この10月19日の研修を第1弾とし、この第1弾で明らかにされた圏域のコロナ対応の課題を念頭に11月に研修の第2弾として医療、福祉の関係者から演者を募り、クロストーク、グループワークによる意見交換を行い、対応可能な取り組みなどの取りまとめができることを期待していること

その他、昨年度延期になった長北医学会が、長門市医師会の引受で10月16日(日)に開催されます。特別講演として、コロナ対策に関するテーマが用意されているので、参加をお願いします。

3 10月診療報酬請求書の移送について

大藤理事

国保・社保 10月7日(金) PM2:00まで

4 10月定例理事会、例会の日程について

大藤理事

定例理事会 10月12日(水) PM7:00～

例 会 10月28日(金) PM7:00~

との報告がされたこと

5 郡市医師会救急医療担当理事協議会報告 山本理事

7月14日(木) 於 山口県医師会
県医師会報9月号に前川県医常任理事が
詳細を報告されているので参照されたい。
また、会報9月号の9月定例理事会報告に
て概要報告済みなので協議事項のみの紹介
に止めさせて頂くこと

協議事項

- 1) 本県の救急搬送の現状について
- 2) ドクターヘリの出動状況について
- 3) 救急現場における心肺蘇生を望まない
傷病者への対応について
- 4) 一次救急について
- 5) 医療的ケア児の救急搬送について
- 6) JMATやまぐちについて
- 7) ACLS普及啓発事業について
- 8) AED普及啓発について
- 9) その他

6 郡市医師会小児救急医療担当理事協議会 報告 花宮理事

7月28日(木) 於 山口県医師会
県医師会報9月号に詳細が報告されてい
るので参照されたい。

協議事項

- 1) 令和3年度小児救急関係事業報告について
研修会や講習会の開催状況
- 2) 令和4年度小児救急関係事業について
各種継続事業における予算、相談件数
(実績)、普及啓発
- 3) 山口県小児救急医療電話相談事業
(#8000) について
相談件数の各種データ分析の報告があり、
全国と比べ山口県における外科外傷
の相談は少ないが、主訴の欄の「その他」
へ計上されていると思われるなど、
相談事業の受託業者が複数あるため業者
による集計が違うようで、「その他」の
項目のデータが詳しく分析されていない

7 郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事 協議会・関係者合同会議報告

花宮理事

9月1日(木) 於 ホテルニュータナカ
以下のとおり、概要報告をさせて頂く。

協議事項

- 1) 県からの報告
麻しん風しん予防接種実施状況におい
て、麻しん風しん予防接種については県
下でも高い萩圏域の接種率が令和2年度
より令和3年度でさらに向上したこと。
風しん検査事業は当面、継続されること。
出来るだけ多くの方が検査されるよう検
査方法としては費用が高くない現行のHI
法を採用していくことが了解されたこと。
2) から9) までについては資料を後で
ご覧頂きたいこと
- 2) 令和5年度妊婦・乳幼児健康診査にお
ける参考単価(案)について
- 3) 妊婦健康診査について
- 4) 乳幼児健康診査について
- 5) 令和4年度広域予防接種における高齢
者インフルエンザ予防接種について
- 6) 令和5年度広域予防接種における個別
接種標準料金(案)について
- 7) 風しんの追加的対策について
令和5年度の標準料金(案)で若干の
増額となったこと
- 8) HPVワクチンについて
- 9) 県医師会母子保健委員会について
- 10) その他
以下の研修会について、参加の要請が
あったこと
①令和4年度児童虐待の発生予防等に関
する研修会について
②令和4年度山口県医師会学校医研修
会・学校医部会総会・予防接種医研修
会・学校心臓検診精密検査医療機関研
修会について

8 山口県医師会産業医部会理事会報告

兼田理事

8月4日(木) 於 山口県医師会

会報9月号の9月定例理事会報告にて報告されているので、以下のとおり、産業医部会理事会での主な協議事項のみ報告し、その他の協議事項については資料提示に止めさせて頂くこと

主な協議事項

産業医部会の目下の主な協議事項は「医師の働き方改革」であること

焦点は勤務医の労働時間制限の年960時間の取扱いであり、支援機関として、医療勤務環境改善支援センター（各県に一か所）の設置、指導機関として医療機関勤務環境評価センターの設置がされること

医療機関に勤務する医師が一人でも960時間を超えそうな場合、指導員が事前指導を行うことなどについて理解に努めていること

なお、先の定例理事会で説明したことで、後日、相違が分かったので以下のとおり、訂正させて頂く。

勤務医の時間外労働が100時間に達する前に当該医師に対して面接指導を行う者は医師に限らず専門の指導員と報告したが、指導員は面接指導研修を受けた産業医であること

協議事項

- 1) 部会の役員等について
- 2) 第43回産業保健活動推進全国会議について
- 3) 令和4年度産業医部会総会について
- 4) 各地域産業保健センターの現状について
- 5) その他

9 今後の国保診療所のあり方に関する会議報告

佐久間副会長

会報9月号の9月定例理事会報告にて報告されているので概要のみの報告とさせて頂くこと

【1回目】7月26日(火) PM7:00~

【2回目】8月31日(水) PM7:00~

【1・2回目】

場所：萩市地域医療支援センター

主催：萩市地域医療推進課

7月26日の1回目の協議では自治医科大学からの派遣医師の受け皿となるように萩市民病院に地域医療部（仮称）を設けて、そこに県の調整により医師を派遣してもらい、そこを拠点に各国保診療所へ巡回診療する方式を検討していくことが了解された。

8月31日の2回目の協議では巡回回数や巡回者数に関する案を市（地域医療推進課）が提示し、県への提出案を決定

今後、提出案について県と市との担当者レベルの意見交換が10月3日に実施される予定であること

10 8月分会計収支の承認について 米城理事 別紙会計収支表のとおり承認

二 萩准看護学院

1 令和5年度生一次入学試験 若松理事

日時 11月19日(土)

筆記試験：AM9:00

面接試験：PM2:00

若松理事から面接試験への出務について協力の要請がされた。

○追加の情報として、以下の学術講演会について藤原理事から参加要請があった。

日時 10月21日(金) PM7:00

開催 ハイブリッド形式

発信場所：千春楽別館 味楽亭

講演「ゲノム情報を踏まえた

最新の消化器がん治療」

講師 山口大学医学部付属病院腫瘍センター

准教授 井岡 達也 先生

一 医師会

1 会長報告 綿貫会長

1) 郡市医師会会長会議への意見要望について

日時：10月20日(木) PM 3：00～

場所：山口県医師会

山口県医師会で開催される会長会議への意見要望があれば、事前に私(会長)までに知らせてもらうよう、要請された。

2) PCB汚染機器の処分について

会長から処分が遅延した経緯や現行の処分の仕組みについての説明があり、これを受けて神崎事務長が以下のとおり、今後の処分日程・費用等の見込みについて説明を行った。

萩保健所の指導を通じて、国の指定業者であるJESCO豊田PCB処理事業所から処理を行う旨の通知を受理。通知には当会と事業者との間での処分委託契約の締結などといった今後のスケジュール、費用の見積が明示されており、これとは別に運送料がかかることから、複数の運送業者が紹介されていること。今後、これらの運送業者から見積合わせをし、業者を選定。これにより処理に係るスケジュール、費用総額を決定し、費用の執行についての理事会での承認を得ることとする。

なお、当該費用は当初予算案に計上していなかったため、今回の理事会にて補正予算として概算で費用計上することへの承認について担当理事の米城理事から説明をして頂くようお願いしていること

2 11月診療報酬請求書の移送について

大藤理事

国保・社保 11月10日(木) PM 2：00まで

3 11月定例理事会、例会の日程について

大藤理事

定例理事会 11月9日(水) PM 7：00～

例会 11月25日(金) PM 7：00～

4 郡市医師会地域包括ケア担当理事・介護保険担当理事合同会議報告

佐久間副会長

9月29日(木) 於 山口県医師会

議題

1) 令和4年度介護報酬改定による処遇改善について

平成24年度から介護職員処遇改善加算(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)が適用されるようになり、令和3年10月からの上乗せとして特定処遇改善加算がさらに令和4年10月からの上乗せとして介護職員等ベースアップ等支援加算が新設されたこと

2) 在宅の医療的ケア児(者)の現況等について

山口県小児科医会の綿野先生から人工呼吸器が必要な医療的ケア児は増加していること、山口県小児科医会成育在宅医療推進委員会の歴史等、実数調査の結果報告等や、訪問診療・往診を受ける小児患者の推移や令和元年の小児科医会会員への調査による状況、問題点、現状等、重症心身障害児(者)・医療的ケア児(者)が地域で暮らしていくために必要なしくみ作りなどについて説明がされ、医療的ケア児への医療対応について協力要請がされたこと

3) 救急現場における心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

主に救急医療担当理事協議会で協議がされていること、県として統一運用がされているのは山口県だけであること、対象が成人であることから、成人の定義は

改正民法に准じ18歳で良いかを検討すること、かかりつけ医到着時間やかかりつけ医との連絡が取れない時の対応など各地域での運用、心肺蘇生を中止する場合の家族等から同意書の取得の徹底などについて情報交換がされたこと

4) 県訪問看護ステーション、県介護支援専門員協議会の活動状況について

令和3年度訪問看護支援事業報告で訪問看護師研修会の実施、交流会の実施、啓蒙活動の実施等の概要説明がされたこと

令和4年度山口県介護支援専門員協会事業計画の説明で会員の増員目標の達成、ケアマネのスキルアップ支援としてオンライン活用による質の高い研修体制の構築など体制整備の強化が強調されたこと

「「Withコロナ私たちに求められる心構え」～BCPを見据えて～」と題し、第19回山口県ケアマネジメント研究大会が11月26日に開催予定であること

5) 県医師会地域包括ケア推進事業について

山口県医師会の地域包括ケア推進事業の活用促進の要請と令和3年度の実績について資料提示がされたこと、山口県医師会報の令和3年11月号に3年度実施状況等について担当理事協議の詳細報告が記載されているので参考にされたいこと

5 国保診療所の診療体制について県との会議報告 佐久間副会長

10月3日(月) 於 医療支援センター

9月理事会で報告のとおり、7月26日と8月31日の萩市と医師会による内部協議において、萩市としての診療体制再編の素案が決定され、これを踏まえ、萩市と県所管課の医療政策課担当者2名及び県立医療センター地域医療支援部の原田先生、中嶋先生、宮野先生とで意見交換が行われたこと

6 9月分会計収支の承認について

米城理事

別紙分会計収支表のとおり承認された。

7 萩労働基準監督署による「令和4年度医療保健業に対する労働時間等説明会の開催」について 中村局長

日時：11月25日(金) PM1：30～3：30

場所：萩地方合同庁舎地下会議室

萩労働基準監督署から医師会事務局に対し、今回は説明の対象を時間外労働時間の規制の年960時間が適用される勤務医が従事する病院に限定し、市内7病院への開催案内がされたとの情報提供があったことが報告された。

二 萩准看護学院

1 修学旅行の代替行事について 若松理事

新型コロナウイルスの感染が収束していないため、今年度も宿泊を伴う修学旅行は避けるべきとして、日帰りの近場での行事を計画し、感染対策を講じて実施することが報告された。

2 戴灯式の実施について 若松理事

10月14日(金)に実施予定でコロナ禍につき、昨年同様、規模を縮小し、来賓は呼ばず、学生と保護者のみの参加に止め、実施することが報告された。

3 生徒の罹患に係る検査実施について

若松理事

9月30日に学院の生徒が罹患したことから、当該生徒と濃厚接触が疑われる4名の生徒に対し、抗原検査を実施し陰性が確認され、その後も発症は無いことが報告された。

4 中村主任の放送大学卒業について

若松理事

専任教員の資格条件を得るため、令和2年10月から放送大学に編入しており、その課程を全て修了し、9月に卒業したことが報告された。

5 9月分会計収支の承認について 米城理事

別紙会計収支表のとおり承認された。

三矢会ゴルフコンペ



開催日／令和4年9月23日(金)

場所／山口レインボーヒルズ豊田湖ゴルフクラブ

優勝 相良 絵見

OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
40	40	80	9.6	70.4

準優勝	川上 俊文	7位	神崎 卓也
3位	内藤 隆昭	8位	門田 晴江
4位	津田 和夫	9位	松尾 宗平
5位	笹村 泰治	10位	笹村 一雄
6位	横尾 吏	11位	小田 祐夕

新型コロナと共に (4) 3年ぶりの 長北医学会も終って

山本 貞壽

ゼロコロナ、ポストコロナ、闘う、とも書いてこなかった。

二回中止のあとの、第74回長北医学会(10月16日)は新型コロナだけがテーマとなった会でした。プログラムには書いてないけど、会場の垂れ幕にはシンポジウムの処に「新型コロナウイルスとの闘い」と記してあった。保健所と三病院からの演題とディスカッションがあって、勉強になりました。

2020年1月での我国の発症から3年近くになり、世界中のいろいろな対応を知り、我々なりにもいろいろな経験を重ねてきました。

長北医学会出席のため長門市への往復で萩保健所の前を通過すると、日曜日なのに昼過ぎと夕方には明りが点いていた。コロナへの対応とご苦労を想うのです。

昨年は10月、11月は発生消えて「自然消滅」かとの声もあったところ、12月になり第6波、大発生は消えないまま第7波。長北医学会(日曜日)をはさんでの5日間の萩市内発生は新聞によると4、11、16、5、21人。

一線に対応していて3年近くにもなると、老生もスタッフも、もうすっかり日常診療の一部となっていて当惑する事態はなくなっている。勿論、指定感染症であり、保健所や入院機関の苦勞の理解に努めながらで

す。非常にたくさんの経験をしますと、偶然的なものを含め新しい知見も得ます。

正常性バイアスと云われない位の経験はしたつもりでいます。幸いの広い敷地、臨時診察室との長い戸外距離は、山風・海風の換気の効果充分すぎるのでしょうか。頬寄せあう距離で診察しても、移動の間にウイルスは吹き飛んでいるのかも。一般診療室を中心にしてのウイルス吸引装置は4台。

長北医学会や萩地域感染対策連携カンファレンスなどに参加するのは一線医には当然でしょうが、老生のような次元の違うかなという対応シーンもあるのです。

突然倒れることも覚悟しているあと2年で医師歴60年の老医より。



編集後記

最近勉強会がweb開催となっており大変助かっております。大変便利な反面、直接先生方と意見を交わす機会が減ったり、つい見逃したりと自分にとってはマイナス面も大きいと感じております。これからは少し面倒がらずにまた現場に参加して、たくさんの良い刺激を頂きに行こうと思っております。

(K.W.)

小児感染症情報

8/29(月)～10/2(日)

疾患名	8/29～9/4	9/5～9/11	9/12～9/18	9/19～9/25	9/26～10/2
新型コロナウイルス感染症	173	162	234	260	231
インフルエンザ (A・B)					
RSウイルス感染症	9	15	8	4	5
咽頭結膜熱 (アデノウイルス感染症含む)					
溶連菌感染症	1	3			
感染性胃腸炎 (ロタ・アデノ・ノロ・その他)			4	10	7
水痘					
手足口病					
伝染性紅斑					
突発性発しん		1			
ヘルパンギーナ				9	1
流行性耳下腺炎					
帯状疱疹					
ヒトメタニューモウイルス					
マイコプラズマ感染症					
ヘルペス歯肉口内炎					

報告者：いわたにこどもクリニック 院長 岩谷 一

救急月報 (令和4年9月分)

萩市消防本部

区分	救急事故種別											合計	
	火災	自然災害	水難事故	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
本	出動件数	0	0	2	12	5	2	46	0	2	170	36	275
月	搬送人員	0	0	0	12	5	2	45	0	1	164	35	264

萩市医師会報 No.595

2022年10月28日発行

編集 広報委員会
 発行人 萩市医師会
 印刷所 (有) マシヤマ印刷